

ハンリム大学生がやってきました

7月7日から14日まで、韓国ハンリム大学の学生10人が町内でホームステイをしながら、さまざまな経験をしました。ハンリム大学生の受入は平成8年から続けられており、今年で15回目となります。今年も新入生インフルエンザの発生があり心配されましたが、学生たちは無事約1週間のホームステイを終え、元気に帰国しました。

学生たちはやはりホームステイの経験が一番印象に残ったようで、皆「ホストファミリーに家族のように接してもらった」と感謝していました。



ホストファミリーの皆さんと一緒に

元NHKラジオ体操指導者に習いました



しっかりひじを伸ばそう！

7月13日、会見小学校と会見第二小学校に、NHKで28年間ラジオ体操の指導をされていた青山敏彦さんを迎え、児童、保護者、地域の大人たちがラジオ体操を習いました。ラジオ体操は、関節をしつかりと伸ばし、大きく動くことが大切で、毎日継続することでじわっと効果が出てくるそうです。青山先生は72歳ですが、とても柔軟な身体で、子どもたちも驚いていました。

皆生トライアスロン

7月19日、第29回全日本トライアスロン皆生大会が開催されました。南部町は自転車競技のコースとなっており、約170人の町民ボランティアが参加しました。

あいみ手間山地域振興協議会地域づくり部では、選手を応援するため、「南部町へようこそ 前へ鉄人！この夏一番の思い出!!」と題した横断幕を作成しました。また、エードステーションのすぐ後に空ボトルのポイ捨て場所を設置するなど、大会運営のみならず、環境に配慮した取り組みも行いました。



横断幕と地域づくり部のみなさん

南部町・佐川町文化交流事業



傾城阿波の鳴門どんどろ大師門前子別れの場

8月1日から2日、高知県佐川町で、「南部町・佐川町文化交流事業」が行われました。

両町はお互いに桜の名所をもつことが縁で、平成8年から交流が続いています。

今回の文化交流事業は、佐川町立佐川中学校新築落成記念事業の一環として行われたもので、南部町からは法勝寺歌舞伎と子ども歌舞伎の公演を実施しました。見事な演技に集まった佐川町民の皆さんから拍手喝采をあびていました。